

プレスリリース
報道関係者各位

ヒルトン・ワールドワイド
オリジナル・ドラマムービー「Play! HiltonStory」いよいよ完結
ヒルトン・ホテルで紡ぐ最終話本日公開！



～バレンタインデーに大切な人と観たい、ドラマティックな恋の物語～

本日公開「Play! Hilton Story」第3弾『約束の場所』

www.hiltononline.jp/playhilton/story/

【2015年2月12日、東京】 ヒルトン・ワールドワイドは、ヒルトン・ホテルを舞台とする連続オリジナル・ドラマムービー「Play! Hilton Story」第3弾となる最終話を、本日WEBサイトに公開いたしました。

「Play! Hilton Story」は、ヒルトン・ワールドワイドがお客様に推奨している“Playcation”^(*)の提案、すなわちお客様がホテルという空間を単なる宿泊施設として利用するばかりでなく、ホテルでのより身近な楽しみ方や関わり方を表現すべく制作されたオリジナル・ドラマムービーです。

仕事に恋に悩み多き主人公いずみと、親離れしてしまった娘を想う父の心情をあたたく描いた第1弾『思い出のネクタイ』、友人との“お泊り女子会”を通じてリフレッシュされるストーリーの第2弾『突然のメッセージ』に続き、遠距離恋愛中の恋人・真治との大切な日を描く第3弾『約束の場所』も、舞台はもちろんヒルトン・ホテル。（全ムービーは、<http://www.hiltononline.jp/playhilton/story/>（オフィシャルHP）にてご覧いただけます。）

最終話の鍵を握るのは、WEB公募で昨年11月に募集したラストシーンの決めセリフです。たくさんのご応募の中から厳正なる審査の上選ばれた決めセリフは「次にここに来るときは、たくさんのごゲストにも来てもらおう」。思い出の場所ヒルトン・ホテルで、ラストシーンのセリフが物語る2人に待っている結末とは…？



2014年10月に配信をスタートした「Play! Hilton Story」も、いよいよ完結。切なくもドラマティックな展開を迎える恋愛ストーリーは、まるで甘くほろ苦いチョコレートの味のよう……。大切な日にパートナーとぜひお楽しみください。

ドラマムービー「Play! Hilton Story」は、こちらからご覧ください。

- Play! Hilton Story リンク <http://www.hiltononline.jp/playhilton/story/>

■ (*) Playcation とは...

英語の Play=遊ぶと Vacation=休暇を組み合わせた造語。余暇を休暇と同じように家族や友人たちと過ごす特別な時間として楽しむという、ヒルトン・ワールドワイドが提唱する考え方。

■ Play! Hilton とは...

“Playcation”をコンセプトに、新しい宿泊プラン、フード&ドリンク、デスティネーションの楽しみ方を提案するキャンペーン。

<http://www.hiltononline.jp/playhilton/>

ヒルトン・ワールドワイドについて

ヒルトン・ワールドワイドは、世界をリードするホスピタリティ企業であり、ラグジュアリーホテルやリゾートから長期滞在型のスイートや中価格帯ホテルにいたるまで、幅広くホテル事業を手がけています。ヒルトン・ワールドワイドは95年に渡り、世界各地からビジネスやレジャーで訪れるゲストに、最高級の宿泊施設、サービス、アメニティ、そしてバリューを提供し続けてきました。当社は、グローバルに認知された12のホテルブランドがあらゆる地域でゲストに特別な体験をお届けできるよう、引き続き全力を尽くしています。94ヶ国で4,300軒超、715,000室を超えるホテルを展開する当社のブランドには、ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ、ウォールドーフ・アストリア・ホテルズ&リゾーツ、コンラッド・ホテルズ&リゾーツ、キュリオコレクションbyヒルトン、キャノピーbyヒルトン、ダブルツリーbyヒルトン、エンバシー・スイーツ・ホテルズ、ヒルトン・ガーデン・イン、ハンプトン・ホテルズ、ホームウッド・スイーツ・バイ・ヒルトン、ホーム2・スイーツ・バイ・ヒルトンおよびヒルトン・グラント・バケーションが含まれています。また当社は、世界トップクラスのゲスト特典プログラムである、ヒルトンHオナーズも運営しています。

日本においては、現在、コンラッド・ホテルズ&リゾーツ、ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ及びダブルツリーbyヒルトンの3ブランドのもと、11のホテルを東京、大阪、小田原、名古屋、ニセコ、福岡、沖縄など日本の主要なレジャー及びビジネスの拠点で展開しています。当社に関する詳細はnews.hiltonworldwide.com(英語)をご覧ください。